

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 森

会議名: 令和3年度 第1回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時: 令和3年5月22日(土)午前10時から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 井上代表、竹村、中島、林、大黒、余川

(行政)市民協働課 朝日 守山会館 川上、森

使用資料: 令和3年度活動計画、各委員の検討状況、わがまちミーティングについて

議題

今年度の取組について

1. 自治会の課題解決に向けた検討 2. わがまちミーティング

会議要旨

内容

1. 自治会の課題解決に向けた検討

(1) 民生委員・児童委員、福祉協力員、健康推進員に関する関係機関からの状況報告について
民生委員・児童委員、福祉協力員、健康推進員について在り方検討会の状況報告

【意見等】

●全体について

(代表) 民生委員・児童委員、健康推進員については、昨年度よりあり方検討委員会等が設置され、各委員自身が意見を主張できる場ができたことは貴重であり、大変感謝しているが、自治会における課題としている“なり手不足”の課題解決には直結していないように思う。今回報告いただいた民生委員・児童委員のあり方検討会での「自治会から推薦しやすい方法の検討」での意見としてでている、自治会内で現委員を含めて選考委員会を立ち上げ、推薦することは、自治会長のみ負担軽減や、適任者かどうかの見極めができるため、効果が期待できる良い方法ではないかと思う。ぜひ検討を進めていただきたい。また、福祉協力員・健康推進員についてもそのようなやり方をぜひ検討いただきたい。

●健康推進員について

(代表) 広報部会の設置等の組織的な見直しはいただいたが、抜本的な見直しが必要なのではないか。健康推進員と自治会との関係性とは？自治会の中でどんな活動をして、健康推進員としての効果がどのくらいあるのか疑問に思う。

(PJ 委員) 健康推進員は何しているの？から始まり、それほど浸透していないように思う。また、自治会で健康に関する啓発をしてもらいたい、その発想や技量までではない。

(PJ 委員) 以前務めていただいていた方に話を聞くと、研修が多いことがネックであり、仕事の調整もつけるのにも苦慮し、研修中は上から目線で行くのが嫌だったとのこと。また、自治会で何をどう活動していけばよいかわからないと言われた。

(PJ 委員) 健康推進員は、自治会によって健康推進員に対するニーズがない。高齢化が進み、新しく役員を引き受けてくれる方もいない。出前講座等もあるし、そちらを活用する等すると、健康推進員の存在意義に疑問を感じる。存在意義も含め、時代の流れとともに変えていくことも必要なので

は。検討願いたい。

また、自治会によって複数の健康推進員がいるところや、1人のみの場合もあるため、1人の場合は、研修中も孤独で、行くのが億劫となり長く続かないのも現状にある。

(PJ 委員) 健康推進員の本来のねらいや目的とは何かもう一度考えなおしてもらいたい。今の時代に適した健康推進員のあり方とは何か。併せて健康推進員とは何をしているのか、という周知もしていただきたい。

制度が始まったときの時代背景と、今の状況は違っている。抜本的に見直すべきでは。

(PJ 委員) 健康推進員という名前が堅苦しくさせているのでは？何をしているかパッとわかりやすい名前に変える等をしてはどうか。

→ (事務局) 健康推進員と活動するに研修を受けることは制度上必要となっている。研修回数も以前に比べて、減らしてきてはいる。なかなか人前で話すというのはハードルも高いし、そこまでの知識もすぐに習得できないのがほとんどのため、研修を受けられたときの資料を活用し、配布する等でもよいかと思う。自治会で探していただいて推薦をいただいているので、推進員さんの活躍できる場が自治会でもあれば望ましい。

● 民生委員・児童委員について

(PJ 委員) 「民生委員・児童委員不在地区の対応方法の明確化」とあるが、実際不在地区の対応はどう行政はフォローしているのか。いなくても成立しているのであればいいのではないのでは？

→ (事務局) 確認します。

(PJ 委員) 見守り活動について、個人情報、民生委員・児童委員のみ見てもいいようになっているにも関わらず、福祉協力員にも見守りをしてもらおうよう言っているのは、個人情報保護の観点からしても問題になるのではないか。

(2) 「学区自治会ハンドブック-改訂版-」および「市自治会ハンドブック」の配布について

【意見等】

(代表) それぞれのハンドブックは、市 HP にも掲載をいただいているが、検索方法として、「〇〇補助金」等の単語検索ができるようになればより便利に活用いただけると思うが・・・。

2. わがまちミーティング

(代表) 昨年度市内のコロナ感染者が増えてきていることから、感染症防止対策として中止をした。今年度実施するかどうかは、開催時期を来年2月と予定して、果たしてコロナは収束しているのか、ワクチン接種の状況にもよるし、今年度必ずしもわがまちミーティングをする必要があるのか(= 不要不急のものでないなら検討をするべきでは。) が判断基準となるのでは。

開催する場合は、色んな方に、広範囲に、特に若い人に参加してもらいたいので、今後のためにも、オンラインという方法もあれば良いと思うが・・・。

→ (事務局) 昨年度各会館やエルセンター等公共施設のネットワーク無線化を実施し、ハード面については一定改良された。今後は職員および市民ファシリテーターがオンラインで進行役を務めるための一定の技量を備えておく必要があると考えている。

●開催有無、詳細については次回以降に再度検討

決定事項	・各委員に関する関係機関からの検討状況については、今後も報告をする。 ・次回会議 7月4日（土）午前10時から
次回以降について	・民生委員・児童委員、健康推進員、福祉協力員のあり方検討会の状況報告について ・わがまちミーティングの開催有無、実施時期等の検討